

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	3年	後期		
科目名	精神看護学実習					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	2単位	90時間	授業形態	実習
担当教員	石橋 佐枝子					
メールアドレス	s-ishibashi@tsuruga-nu.ac.jp (石橋)	オフィスアワー	実習時間内			

授業目的	精神障がいを持ちながら病院・地域で生活する人々のリカバリー(回復)の過程を支援するために、生物学的・心理学的・社会的モデルを用いて対象を理解し、必要な看護実践を試みる。さらに、対象者とその家族、他職種、実習グループメンバー等と円滑に協働するためのコミュニケーション能力を修得する。
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科病院や施設における看護活動を学び、対象者の人権と個性を尊重した効果的な看護の実践を学ぶ。 2. 精神障がいを持つ対象者のストレングスを活かしたアセスメントを行い、リカバリーに向けた看護実践を試みる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設での看護活動に参加し、ケアの実際を理解する。 2. 精神障がいを持つ対象者の情報を多角的に収集し、生物学的・心理学的・社会的モデル(バイオ・サイコ・ソーシャルモデル)やセルフケア理論を使ってアセスメントを行う。 3. プロセスレコードを使って対象者との関わりを振り返り、自己のコミュニケーションの特性とより効果的に関わるための方法について内省する。 4. 対象者にとってのリカバリーとはどのようなことかを考え、それを実現するための看護計画を立案し、実践を試みる。
教材 参考文献等	<p>参考図書：</p> <p>萱間真美編集、パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護学実習ガイド、昭林社</p> <p>萱間真美・野田文隆編集、精神看護学 ころろ・からだ・かかわりのプラクティス、南江堂</p>
成績評価 基準・方法	実習目的の達成度(50%)、事前課題・テスト(10%)、実習中の積極的姿勢・態度(40%)として総合的に評価する。

履修要件	精神看護学概論、精神看護学を修得していること。
留意事項 その他	精神看護学概論、精神看護学を十分に復習した上で受講してください。 講義時に指示した事前学習を行って実習に臨み、積極的に臨地指導者及び教員に質問・相談を行って学びを充実させて下さい。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての精神看護の臨床経験を活かして、精神障がいを持ちながら生活する人々の回復を支援するために必要な看護の実習指導を行う。